

正平調

英オックスフォード英語辞書が「今年の言葉」に「ポスト真実」(POST-TRUTH)を選んだのは2016年だった。「世論の形成には客観的な事実より個人の感情に訴える方が影響力をもつ状況」とその辞書は解説する◆具体例が二つある。デマが大きな影響を与えたとされる英国のEU離脱と、トランプ氏が勝利した8年前の米大統領選だ。ネット時代の危うさを象徴する言葉として世界中に広がった◆日本にもいくつか事例がある。その一つは安倍政権が「働き方改革」を進めたときだ。裁量労働制を拡大する根拠として示した国のデータに不自然な操作があり、野党に追及された厚労相はその後、データを撤回した◆分かりやすい、納得してもらいやすい説明をしたくてほんの少しのウソをつく。A的な事実よりもBに訴える方が早道。そんな為政者の本音がにじむ◆心に刻もつと切り抜いた雑誌の一文がある。「異なる意見に耳を傾ける『熟議』の政治は中間層に支えられている」。上智大の佐藤卓己教授が書いていた◆兵庫県知事選が熱を帯びている。関心の高まりは歓迎すべきことだが、客観的な事実とはいえないことを「あった」「なかった」「これが真実」と一方的に決めつける言葉には慎重になりたい。 2024.11.14

上の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部「ポスト真実(真実のあと・真実以降)」の状況の、海外での具体例を、10字以内で2つ抜き出して書きましょう。


2 空欄A Bに入る漢字2字の語句を、本文中からそれぞれ抜き出して書きましょう。

A					B					
---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

3 兵庫県知事選挙では、玉石混交の情報が拡散し、選挙戦に影響しました。偽情報に騙され、間違った選択をしないために、筆者は何が必要だと言っていますか。15字以内で、解答欄に合うように抜き出しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

になる必要がある。

## NIEワークシートのこたえ（2024年11月18日公開）

◆ワークシート「真実が伝わらなくなると(社会)」  
2024.11.14日付 朝刊 1面 正平調 解答

- 1 英国のEU離脱 (8年前の)米大統領選 (順不同)
- 2 A 客観 B 感情
- 3 一方的に決めつける言葉には慎重 になる必要がある。